



～環境にやさしく労力軽減できる新しいタイプの草刈り機～
電動ラジコン草刈りロボットの実証実験を九大附属農場で実施

九州大学農学部附属農場では、株式会社ユニックが開発した電動ラジコン草刈りロボット「ユニモワーズ」の草刈り実証実験を2024年5月～11月に伊都キャンパス農学部附属農場で行います。

ユニモワーズは、クローラーベルト駆動機構により急傾斜地や走行障害の多い悪路面の草刈りをラジコンで安全に操作できる新しいタイプの電動式草刈り機です。本実証実験では、農場の急傾斜の法面など草刈りが困難な場所で草刈りを実施し、ユニモワーズの操作性や草刈り効率を検証するとともに、草刈りの自動化の試行も行う予定です。



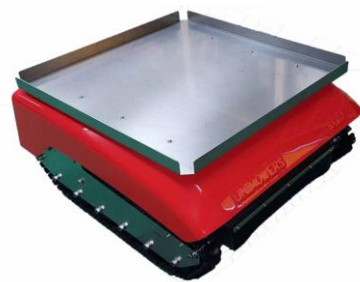
「ユニモワーズ」を使用し傾斜地で草を刈る模様

【背景】

近年、働き方改革などで農作業の機械化による労働負荷の低減が必要になっており、農作業の自動化も望まれています。農作業の中でも草刈り作業は危険かつ重労働で、ロボット化が強く望まれる作業です。刈払機や草刈り機の大半はガソリンエンジン式ですが、近年農業機械にも脱炭素化が望まれるようになり、既にアメリカではガソリンエンジン式草刈り機の規制が増加しつつあります。したがって、現在、効率的に草刈り作業を行える電動式草刈り機の開発が求められています。

【意義】

危険かつ重労働であっても、草刈りは農業や緑地管理に欠かせない作業です。したがって、草刈りの機械化が推進されていますが、その多くがガソリンエンジン式です。ユニモワーズは電動式であるため軽量で、ラジコンによって安全かつ容易に操作することが可能です。さらに、電動式であるため、草刈り作業の機械化において脱炭素化にも貢献することが可能です。



実証試験に使用する電動ラジコン草刈りロボット「ユニモワーズ」

【デモ】

情報交換会およびデモンストレーションを以下の通り開催いたしますので奮ってご参加ください。

日時：2024年5月29日（水）13:30～15:00

場所：九州大学伊都キャンパス アグリ・バイオ

研究施設 実習棟講義室および近傍法面

※参加・取材をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

研究者からひとこと

緑地の維持に電動草刈りロボットは画期的です。環境に低負荷で労力軽減を実現しながら除草し、さらに除草した雑草を有機質資源として活かすなど本実証実験が生態系と調和した農業や緑地管理の一環となる有意義な技術に発展すると嬉しいです。